

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2024-25年度 国際ロータリー第2540地区ガバナー月信

June
2025

6

Vol.12



2024-2025年度 第2540地区 スローガン

『小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう』

ロータリー特別月間 6月 | ロータリー親睦活動月間

2024-25年度 ガバナー
佐藤 和志

2024-25年度 国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック



ガバナーメッセージ

「ロータリーのマジック」はおきた

国際ロータリー第2540地区
2024-2025年度ガバナー

さとう かずし
佐藤 和志



いよいよ私の任期も今月で終了します。これまでご支援ご協力を頂きましたガバナー補佐の皆様、各地区委員長や各クラブの会長はじめ幹事の皆様、そして全会員の皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、皆さんはこの一年ロータリーを存分に楽しんだでしょうか。国際ロータリーや地区からは会員増強やロータリー財団への寄付額の目標、米山記念奨学会への支援などなど沢山のお願いがありました。それでも親睦と奉仕を通じ、ロータリーを存分に楽しんだのは、私自身ではなかったかと思っています。

各クラブへの公式訪問を初め、少数クラブへの2度の訪問や会員増強に苦勞されているクラブへの訪問など、そのたびに会長さんや幹事さん会員の皆さんと親しく話をさせて頂きました。そこでは皆さんと話すたびにロータリー愛・クラブ愛を強く感じたものでした。

ポール・ハリスは『慈愛・寛容・忍耐』の3つを信条としていたそうです。慈愛とはいつくしむこと。寛容とは心が広く、人の言を受け入れること。忍耐とは耐え忍ぶこと。物事を成すには、この3つを固く信じて事にあたったと言われています。

凡人の私にはなかなか難しいことではありますが、各クラブを訪問して分かったことは、困難なことにじっと耐えながらも、慈愛に満ちた、何事をも受け入れながら、粛々と目標を達成される方がいらっしゃる。秋田県は人材の宝庫ではないか。目立とうとせず、磨けば輝く人がいる。そんな印象を持った1年でした。

当地区は会員の減少や男女の比率ではまだまだ女性会員が少ない、財団への寄付や米山記念奨学会への寄付など全国に比べられると下位のほうです。会員数が20人以下のクラブも多数あります。しかし私は悲観していません。諦めていません。当地区40クラブが一丸となって秋田を良くしたいと思うとき、一人一人が切磋琢磨し、さらに上を目指そうとするとき、奇跡は起こるのです。それが『ロータリーマジック』ではないでしょうか。

そして私の年度のモットーは『小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう』でした。1人の一歩が1000人の一歩として踏み出して成果を出してくれたこの1年、皆さんとともにロータリー活動ができて本当に良かったと思っています。素晴らしい仲間の皆さんに、改めて感謝と御礼を申し上げます。

結びに、第2540地区の益々のご隆盛と会員皆様のご活躍をご祈念申し上げ、ガバナーとしての最後のメッセージといたします。ありがとうございました。

PRESIDENT'S MESSAGE



2024-25年度国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

(米国ペンシルベニア州のマクマリー R C 所属)

この1年間、私は多くの素晴らしい経験をしてきましたが、過去だけを振り返って満足しているわけにはいきません。常に未来を見据えていかなければなりません。

私たちはかつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、だからといって手を休めることはできません。私たちには、世界中の子どもたちとその家族に対する約束があります。募金、アドボカシー、そして協同の力によってのみ、この約束を果たすことができます。

今年2月に行われた会長主催平和会議に出席した平和構築者の能力とコミットメントに、私は驚きました。ロータリーの平和フェローシップと数多くのほかの平和イニシアチブは、分断された世界に癒しをもたらしています。しかし、その効果と重要性を維持するには、引き続きの支援が必要となります。

孤独が蔓延する世界にあって、ロータリーでは友情、目的意識、帰属意識を感じることができます。ロータリーの理念、つまり「四つのテスト」やインクルーシブな精神に忠実であり続けられれば、最も暗い時代においても希望の光を与えることができるでしょう。

行動計画は、クラブと地区を魅力的な存在にするための指針ですが、これを実際に活かすかどうかは私たち次第です。

ロータリーファミリーの皆さま、力を合わせ、共通の目標に向かって邁進すれば、成し遂げられないことはありません。

皆さまこそが「ロータリーのマジック」です。皆さまが世界にもたらしていく持続可能な変化を目にすることができるのを楽しみにしています。

PRESIDENT'S MESSAGE



1. 国際協議会の準備中、アメリカのフロリダで野生動物と触れ合う。
2. カリフォルニア州パサデナで開催された2025年ローズ・パレードの山車に乗車。
3. イギリス連邦デーの行事に出席するためロンドンに滞在中、チャールズ国王に面会。
4. ロータリー研究会に出席するため訪れたアラバマ州で、アメリカ宇宙ロケットセンターを訪問。
5. アフリカのウガンダで開催されたロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)セミナーで、参加者と喜びを分かち合う。



最良の時はこれからやって来る

この1年間、私は多くの素晴らしい経験を重ねてきました。しかし過去を振り返って満足しているのではなく、未来を見据えていかなければなりません。

ポリオ根絶はこれまでにないほど近づいていますが、だからといって手を休めることはできません。私たちには、世界中の子どもたちとその家族に対する約束があります。募金、アドボカシー(啓発活動)、そして私たち全体の協力によってのみ、この約束を果たすことはできます。

今年2月、トルコのロータリー会長主催平和会議に出席した平和構築者の能力と行動に、私は驚きました。ロータリーの平和フェロシッププログラムや、その他多くの平和の取り組みは、分断された世界において癒やす力を持っています。しかし、その力を維持するには、継続支援が必要です。

世界的に「孤独のパンデミック」ともいえる状況の中、ロータリーでは友情や目的意識、帰属意識を感じることができます。ロータリーの理念、つまり「四つのテスト」やインクルーシブな精神に忠実であり続ける限り、どんな暗闇の中でも希望の光となるのです。

「行動計画」は、クラブと地区を魅力的な存在にするための指針ですが、これを実際に生かすかどうかは私たち次第です。

ロータリーファミリーの皆さま、力を合わせ、共通の目標に向かって進むとき、成し遂げられないことはありません。

皆さまこそが「ロータリーのマジック」です。皆さまが世界にもたらす持続可能な変化を目にすることができることを、楽しみにしています。

ステファニー A. アーチック
2024-25年度 国際ロータリー (RI) 会長

6.トルコ・イスタンブールで開催された2025年ロータリー会長主催平和会議で、平和ボールの奉納。 7.故郷の野球チーム、ピッツバーグ・パイレーツの試合で始球式に臨む。 8.ペルーのマチュピチュ遺跡を訪問。 9.ボスニア・ヘルツェゴビナ大統領評議会のクロアチア人代表、ジェリコ・コムシッチ氏と会談。 10.エジプト・ギザのピラミッドを訪問。

25-26年度に向けた「会長エレクト研修セミナー(PETS)」

次期地区幹事 小林 和晴

5月10日(土)に「会長エレクト研修セミナー(PETS)」が由利本荘市にて開催されました。

プログラムは、佐藤ガバナーの挨拶に始まり、桑山ガバナーエレクト挨拶、嶋田次期成長戦略計画委員長および行動計画推進委員長からお話、渡部次期ロータリー財団補助金委員長よりお話、佐藤次期会員拡大増強委員長からお話がありました。

分科会では、主に会長エレクトと次期幹事それぞれ会場を分け、グループセッションが行われました。会長エレクトに向けては「会長の責務について」と「RLIについて」、次期幹事に向けては「幹事の責務」と「HP・SNS/LINEについて」講義がありました。

セミナーの終わりには、地区会計長からの報告と、次年度予算案についての報告が行われました。半日をかけて、ロータリーについて改めて学び、次年度の見通しを立てる機会となったことと思います。



25-26年度に向けた「地区研修・協議会」

次期地区幹事 小林 和晴

佐藤ガバナー年度最後の行事として、6月7日(土)に「地区研修・協議会」が由利本荘市にて開催されました。

プログラムは、佐藤ガバナーの挨拶に始まり、桑山ガバナーエレクト挨拶並びに次年度RI方針及び地区メッセージ、富樫成長戦略計画委員長から報告、嶋田次期地区成長戦略計画委員長から次年度計画のお話、工藤次期DEI委員長からお知らせ、平澤規定審議代表委員からお知らせ、地葉次期危機管理委員長からお知らせがありました。

午後は、ロータリー平和センターの広報アンバサダー、山崎敬生様より「世界の平和を希求する『ロータリー平和センター』」と題して、特別講演をいただきました。ロータリー平和センターについて知り、平和について考えを深める機会となりました。分科会では5つの会場に分かれ、それぞれの委員会活動についてプレゼンやディスカッションが行われました。

「地区資金運営要項改定」と「次期地区資金一般会計予算」についての議案審議は、侃侃諤諤とした議論が行われました。

佐藤ガバナーの講評にあったように、ロータリーは次から次へと新しい難題を強いられている状況であります。継続しなければならないことと改革しなければことをよく整理して勉強していく必要があるでしょう。



第37回全国ローターアクト研修会参加報告

ローターアクト委員会 委員長 佐野 元彦(秋田RC)

去る3月22日(土)・23日(日)大阪で開催されたローターアクト研修会に秋田ローターアクトクラブ太田会員と二人で参加してきました。ローターアクトクラブ(RAC)会員が韓国・台湾からの参加も含め約350人、ロータリアン約100人が参加する大規模な研修会でした。

初日の分科会は、体験型プログラムも魅力的でしたが、私は地区のRAC担当者の会議、太田さんは地区代表者会議に出席をし、各地区の状況を学びました。

やはり、

- ・会員数が多くなければ活動が活発にならないこと
- ・会員数を増やすためには例会が楽しくならないこと
- ・RACが自走するためにはロータリーの理念・活動などの基礎を学ぶ必要があること

がポイントのようです。

我が地区の反省点でもあり、取り組むべき課題が明確になりました。

二日目のメインプログラムは「RACの虎」と題したRAC活動のコンペ。社会的弱者の日常を体験するイベント、RACのPRと活動資金獲得を狙ったイベント、認知症への理解を地域に広げる活動という三つのプレゼンテーションがあり、各地区でRACが活発に活動していること、課題解決に立ち向かう中でRAC会員のリーダーシップ向上が図られていることが印象に残りました。

二日間の学びを活かして、秋田RACの会員増強、活動の活性化をサポートしてまいります。



第12回全国インターアクト研究会・長野会議 報告書

インターアクト委員長 黒丸 雄平

4月26日～27日に行われました「第12回全国インターアクト研究会・長野会議」に次期インターアクト委員会の須田副委員長と参加してまいりました。

例年同様、研修会参加者からはインターアクトに関わらず青少年奉仕活動に対する尋常ならぬ熱量に圧倒されてしまいました。地理的有利さもありますが、西日本地区の国際交流事業の多さにも驚きました。青少年事業を行う上で、危機管理が重要な事項となりますが、物理的な管理はもちろんですが、精神的な管理が重要になってきます。今回の研修会の分科会ではインターアクターもロータリアンや顧問の先生に交じり話し合いを行い子どもたち目線での意見交換を行うことができました。また子どもたちもロータリアンの話に真摯に耳を傾け、お互いに青少年事業の進め方や意義について理解が深まったと思います。「DEI」を推進していくうえでも、与えるだけの事業ではなく一緒に参加して互いに学び合いながら事業を行っていくべきだと思いました。

来年度は郡山市、再来年度は仙台市で開催される予定です。多くのインターアクターと共に参加したいと思います。



全国RYLA(ライラ)研究会・広島会議に参加して

青少年奉仕委員長 加賀 美奈

5月9・10日広島県の安芸グランドホテルにて「全国RYLA研究会」が開催されました。

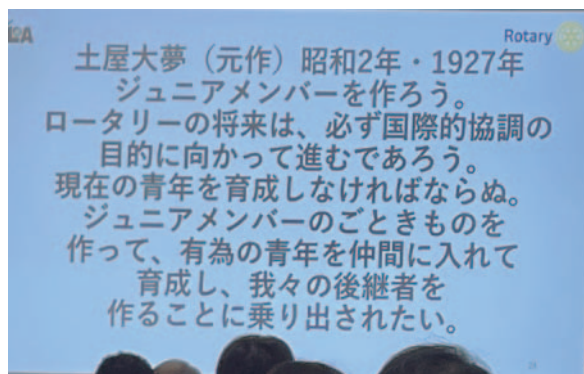
9日の開会式は、ステファニーアーチックRI会長のビデオメッセージから始まり、三木TRF管理委員の講演と井内実行委員長の基調講演「広島の平和とロータリー」という講演を聞きました。

その後、5地区の代表者による「各地区のRYLAプログラムが目指すものはなにか」というシンポジウムが行われました。

10日は「危機管理委員会の報告」として、RYLAやRAC(ロータリー)の年齢について、青少年の危機・対象年齢、ハラスメントを察知する事例を聞きました。また、近年増えている成人ハラスメント(ロータリアン)についての事例と、報告、解決についての指導がありました。

その後、分科会が行われRYLAのファシリテーションについて意見交換をしました。

最後に、井内実行委員長の謝辞があり、RID2710上田ガバナーの点鐘にて閉会となりました。



第28回日本青少年交換研究会青森会議 参加報告

2540地区青少年交換プログラム委員長 金子 雄司(秋田東RC)

2025年6月7日(土)～8日(月)青森市内にて青少年交換研究会が実施されました。当地区から青少年交換委員長金子(秋田東RC)と次年度青少年交換委員会 村上委員(秋田東RC)、矢田委員(秋田北RC)、次年度ホストクラブ小松会長(秋田北RC)の4名で参加してまいりました。

次年度開催地の福岡県を含む全国各地からガバナー、ガバナーエレクトを含むロータリアン180名、今年度受入学生(IBS)約120名さらにローテックス、次年度派遣学生も加わり、総勢300名以上で予定通りのプログラムをすべて行いました。

主な内容は

- ・地区リーダー向け危機管理セミナー
- ・来日学生スピーチコンテスト
- ・千葉すず氏基調講演
- ・インバウンド学生用エクスカーション
- ・青少年交換委員長会議

等でした。

委員長会議では米国ビザ申請についての話題を中心に様々な意見交換を行いました。現在アメリカ大使館ではビザ申請受付がストップしており、予断を許さない状況ではありますが、ライジャムを通して情報交換を積極的に行うことを確認し、各地区から現状報告を詳細に行いました。

次年度は2026年5月30日～31日の日程で、福岡県開催(2520地区主管)が決まっております。

なお、2540地区の青少年交換委員会では次々年度2026年8月出発予定の青少年交換学生を募集します。ロータリアンのご子息、ご友人の中に興味のある方がおられればぜひ地区委員会までお知らせください。

第2回RLI委員会 報告書

RLI委員長 桑原 透(秋田RC)

2025年6月20日(金)18時30分から秋田市の河ドラ駅前酒場升屋にて、第2回RLI委員会を委員が12名中8名、またファシリテーターをお務めくださった皆様から2名、合計10名が参加して開催しました。委員長挨拶後に、3セミナーのファシリテーター評価書を回覧して各自の評価を確認し、次年度の委員会活動と開催日、事業の更なる成功に向けた意見交換をして、今年度の締めにあつた充実したひとときとなりました。

当地区において3年目を迎えた「RLIラーニング・セミナー」は、PartⅠからPartⅢまでを2024年9月、11月、2025年3月に秋田テルサを会場に開催し、PartⅠが27名、PartⅡが22名、PartⅢが19名、合計68名の当地区ロータリアンが受講しました。

卒業者はPartⅠが2名、PartⅡが3名、PartⅢが7名、合計12名を数えました。

2021-2022年度から今年度までに当地区内会員が129名受講し、61名が卒業しました。

受講者数を増やすために、2024年2月から10月までに40クラブ中33クラブの例会に訪問し、例会の卓話の時間をお借りしてRLIラーニング・セミナーへの大勢の受講と、クラブにおける毎年継続の会員研修事業としてご活用いただきたい旨のお願いをしました。

それを含めても、年度初めの想定よりも受講者数が伸びなかったのは大変残念ではありますが、着実に歩みを進めていると言うべきだろうと思います。

RLIラーニング・セミナーを受講することによって、今のロータリーについて学ぶことができ、所属するクラブがより楽しく、明るく、強いクラブづくりへのきっかけとなることと、共にセミナーを受講した他クラブのロータリアンと親交を深め、他クラブが行なっている事業、活動について知ること自分たちのクラブに役立てられます。

夫々のクラブに歴史と足跡があるわけですが、未来のクラブづくりに目を向けた行動を起こさなければ伸長は成し遂げられません。

まずは、クラブの全会員がRLIラーニング・セミナーを受講して、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を今より更に身に付けることによって、個人の意識の変革からクラブの改革、成長へと繋げるきっかけを掴んでほしいと思います。

当委員会では、微力ながらそれをお手伝いするために、今年度もセミナー3回の実施とファシリテーター養成研修3回を着実にこなしてまいりました。

その意味では、今年度の委員会事業は全委員の力で大成功裏に終えられました。

RLIを活用・推進することが会員維持やクラブ活性化に有効であり、地区が主催し続けることでクラブを支援する役割が果たせると考えます。

多くの個性溢れるクラブやロータリアンが、地域により貢献できるようになるためにも、各クラブはRLIを必ず活用してください。

次年度も、PARTⅠ、Ⅱ、Ⅲを開催しますので、まずは9月7日開催のPARTⅠに是非とも大勢で受講くださることを心よりお待ちしております。

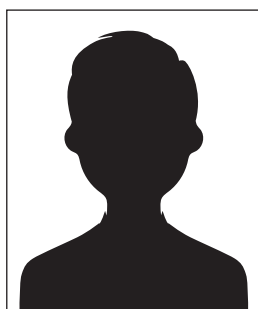
新会員紹介



入会クラブ 秋田南ロータリークラブ
氏 名 佐藤 彰義 (さとう あきよし)
職業分類 電気・電気通信業
勤務先 (株)TEAM CNA E&S
役 職 代表取締役社長
入会年月日 2025年6月6日
紹介者 刀根 一・進藤 大



入会クラブ 大曲南ロータリークラブ
氏 名 伊藤 靖 (いとう やすし)
職業分類 管工事業
勤務先 大曲施設工業(株)
役 職 代表取締役
入会年月日 2025年6月1日
紹介者 佐藤 圭司



入会クラブ 花輪ロータリークラブ
氏 名 阿部 孝夫 (あべ たかお)
職業分類 旅行業
勤務先 (株)だんぶり
役 職 代表取締役
入会年月日 2025年6月18日
紹介者 柳館 清典



入会クラブ 花輪ロータリークラブ
氏 名 高田 潤 (たかだ じゅん)
職業分類 建設業
勤務先 (株)秋田ハイウェイ
役 職 代表取締役社長
入会年月日 2025年6月11日
紹介者 朝霧 正次



入会クラブ 田沢湖ロータリークラブ
氏 名 嘉陽 毅 (かよう つよし)
職業分類 医師業
勤務先 仙北市神代診療所
役 職 所長
入会年月日 2025年6月
紹介者 佐々木 英人

新会員紹介



入会クラブ 田沢湖ロータリークラブ
氏 名 草薙 作博（くさなぎ さくひろ）
職業分類 観光業
勤務先 田沢湖高原リフト(株)
役 職 代表取締役社長
入会年月日 2025年6月
紹介者 佐藤 和志

「私たちロータリアンは、東日本大震災のことをけして忘れません」

風薫5月と言われますが、梅、桜などが終わり、地に近い花々が咲き誇っています。今年の入学生16名も奨学生としての手続きが終わり、新たな「希望の風の奨学生」となりました。4月、5月は「希望の風事務局」も一番忙しい時期を乗り越えられたでしょうか。

2025年3月～5月 収支計算報告 2025.5.31現在

		3月実績	4月実績	5月実績
前月繰越金		216,651,506	220,349,866	224,754,559
収入の部	支援金	7,813,749	4,430,323	1,373,930
	雑収入	0	0	0
収入合計		7,813,749	4,430,323	1,373,930
支出の部	奨学金	4,100,000	0	6,450,000
	振込手数料	0	0	0
	設備費	0	0	0
	通信費	4,730	4,730	2,170
	手数料	0	0	11,000
	消耗品費	0	20,900	0
	会議費	0	0	0
	備品費	0	0	0
雑費		10,659	0	0
支出合計		4,115,389	25,630	6,463,170
次月繰越金		220,349,866	224,754,559	219,665,319

※奨学金4月分は、在学学生は進級後の在学証明書並びに協議会の発行のアンケートに記入した回答書、新入生は4月入学後の在学証明書を協議会がその受領を確認した後に奨学金の給付を再開および新規送金を開始します。その為、4月分は5月上旬に送金しています。4月中に手続きが行われなかった場合は手続き終了後に送金を開始することになります。

※雑費は、ハイパーボックス社に対するロータリー希望の風ホームのSSL更新費用です。

奨学生の状況(単位:人数) 2025.5.31現在

年度	現在	継続	新規	再開	退学	休学	留学	停止	卒業	次月継続
99	52	52	14					14	21	66

(注) プログラム開始からの奨学生は601名、卒業生は439名、休・退学者は102名ですが、2025年5月31日現在の給付生は68名です。2025年3月での卒業予定者21名にも奨学金は支給しています。

地区別支援金5月分

2520地区	1件	1,000円	2570地区	5件	523,000円
2580地区	1件	100,000円	2760地区	1件	700,000円
2790地区	1件	49,930円			

※クラブ名等は「ロータリー希望の風奨学金」のホームページの支援者名簿をご覧ください。

ロータリー希望の風奨学金の支援活動をご紹介します

以下は支援金を送金された際、皆様をお願いしております送金確認書のコメント欄に寄せられたメッセージをご紹介します。

2025.05.19 2580地区東京福生ロータリークラブ

3/19認可された東京Hopeロータリー衛星クラブが設立されました。

5/14記念式典を開催し記念の寄付をさせていただきます。

福生RCは希望の風に力を入れておりHopeの名称もそこからの発想です。衛星クラブの発展に希望をこめます。

(編集者からのコメント)新クラブの設立、おめでとうございます。希望にあふれた活動をご期待します。

ロータリー希望の風奨学生のアンケートのコメントより

以下は毎年3月に、奨学生に対して提出を求めているアンケートの3項目の一つの“「ロータリー希望の風奨学金」に対し、感じている事をお書き下さい”に対する回答の中からご紹介しています。

札幌保健医療大学2年生

大学に通うための資金や生活のための支援をしていただきありがとうございます。これからも、将来のために頑張っていきたいです。

東京理科大学3年生

今現在、自分の叶えたい目標に向かって勉学に励んでします。ロータリーさんのおかげだと思っています。本当にありがとうございます。

仙台大学4年生

震災で影響を受けた学生にとって大きな支えとなる貴重な制度だと感じる。

東海大学4年生

奨学金の給付、本当にありがとうございます。みなさんのおかげで日々の生活を過ごすことが出来ています。

.....事務局からのお願い.....

ご支援を頂ける皆様へ

支援金のお振込みを頂きました時に合わせて「**送金確認書**」をご記入の上、協議会事務局までFAXまたはメールでお送りください。

領収証とお礼状をお届けします。

「送金確認書」は、「ロータリー希望の風奨学金」のホームページのMENUの【ご支援くださる方へ】を開いていただくとありますので、ご利用ください。

追、「送金確認書」のご送付有り難うございます。「送金確認書」を、お送り頂きますと、支援者の皆様のお名前をホームページへ追加する際、地区名、クラブ名やお名前を追加表示する作業を手短に済ませることができます。今後とも、よろしくお願い致します。

■連絡先

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館1階
国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内
Tel:03-5250-2050 Fax:03-4586-6393
メール:mail@kibounokaze.com

■支援口座(口座名義)

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会
千葉銀行 銚子支店 普通 3549340

会員数の増減及び出席率

区分		クラブ名	会 員 数					会員数の増減		年度平均 出席率
			2024年 6月末	2024年 7月末(A)	2025年 5月末(B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B) - (A)	純増割合	
北 区	大館・鹿角分区	大 館	37	36	38	4		2		
		花 輪	20	20	19			-1		
		鷹 巣	7	7	7	1		0		
		大 館 北	21	17	18	3	1	1		
		十和田秋田	25	26	27	1	1	1		
		大 館 南	31	31	31		1	0		
		大 館 中央	14	15	15	1		0		
	能代・男鹿分区	能 代	51	51	52	9	2	1		
		男 鹿	10	9	9	3		0		
		二 ツ 井	5	5	5			0		
		五 城 目	12	12	12			0		
		潟 上	30	33	28		1	-5		
		男 鹿 北	11	11	10			-1		
		山 本	12	12	12		1	0		
		能代白神	13	14	14	6		0		
中 区	秋田分区	秋 田	106	105	110	5	2	5		
		秋 田 東	83	83	76	4	1	-7		
		秋 田 港	47	46	44	8		-2		
		秋 田 北	57	58	58	5	1	0		
		秋 田 南	35	38	41	4	1	3		
		秋 田 中央	40	40	42	5		2		
		秋 田 西	17	20	21	2	2	1		
	本荘・由利分区	本 荘	33	33	35	1		2		
		矢 島	7	7	7			0		
		象 潟	8	8	9	1	0	1		
		本 荘 東	19	17	19	3		2		
	本 荘 南	5	5	6	2		1			
南 区	大曲・仙北分区	大 曲	42	43	53	3	2	10		
		角 館	13	14	14	3	1	0		
		大 曲 南	14	14	14	2		0		
		大曲中央	8	8	11	6		3		
		田 沢 湖	17	17	18	1	1	1		
		大曲仙北	11	11	11	5	1	0		
	横手・湯沢分区	湯 沢	65	66	69	2	5	3		
		横 手	53	53	53	2		0		
		横 手 南	67	67	65	0		-2		
		西馬音内	15	14	11		1	-3		
		湯 沢 南	22	22	22	1	2	0		
		稲 川	13	13	15	3	1	2		
		横 手 東	11	11	11			0		
合 計			1,107	1,112	1,132	84	19	20		

①※印のクラブは未提出のクラブでマイロータリー参照

②40歳未満の会員数は未記入のクラブが多いため回答があったクラブのみの集計

ロータリー研究会の参加報告

ガバナーノミニー 土館 守

12月14～15日に開催されたロータリー研究会へ参加してまいりました。

1日目の第2セッションの「クラブ活性化」について当地区の会員増強拡大においてとても貴重な事例と考えましたので、以下の2点を報告いたします。

- ①ガバナーは6人未満のクラブを終結できる。とありますが、2011年11月に、第2730地区鹿児島県加世田ロータリークラブは会員数が1名にまで減少しました。その時、当時の工藤ガバナー補佐がガバナーと協議してクラブを存続させるがどうか話し合いをしました。ガバナーは、新しいクラブを作るとなると20名必要となるから、今あるクラブを再建する方がいい、と結論づけました。そこで工藤ガバナー補佐は所属していた、宮崎県都城ロータリークラブから自ら移籍をして再建に動きをしました。しかし、すんなり移籍が出来たわけではありません。都城RCからは、引き止められ、代わりに娘さんがロータリークラブに入会することで、翌年7月1日に移籍することが出来ました。クラブは2名となりましたが、工藤前ガバナー補佐には加世田地区に縁もゆかりも無い人間です。それでもめげずに、飛び込み営業をかけてロータリーを普及しようと努力しました。しかし世の中は甘くありません。1年かけても会員数は1人も増えませんでした。そんな工藤さんの姿を哀れに思い、当時の加世田商工会の会長が、商工会青年部から2名、かわいそうだからということで、義理で、加世田ロータリークラブに入会させました。2013年6月末の事です。その2人ですがロータリーに入会して職業奉仕の話を聞きこれはいいクラブではないか、役に立つクラブではないかと考えました。若い会員ですから動くのは早いです。自分たちの仲間を一人二人と集めて数年後には20人まで回復することができました。そして元気のいいクラブ作りをし、今年は25人を目指して頑張っておるとの事です。
- (キーワード:職業奉仕と若い会員の重要性)

- ②第2580地区東京都の地区拡大委員長の若林英博さんからの例です。東京麹町ロータリークラブに所属しています。大都会だと会員拡大は楽だろうと思っている方も多いでしょうが7年前から東京都でもロータリーの会員数はどんどん減っていました。そこで何とか増やそうと3年前から努力致しました。実は伝統あるクラブでは、なかなか敷居が高く、改革することは意外と困難なものであります。そして新しいことに前向きではありませんでしたそのため新会員にとっては魅力のないクラブでありました。そこで当時の地区拡大増強委員長だった若林さんはそれならば新しいクラブを作ればいいのかと考えました。ちょうど国際ロータリーでは、衛星クラブというのが承認され8人会員が集まると結成することができました。これを利用して8人の衛星クラブで、20のクラブを作りましたその結果新しいクラブで100人増えることが出来ました。これに刺激を受けて既存のロータリークラブでも改革に動き出し50人の会員増強をすることはできました。結果、当地区では3年前から比べて150名の純増を果たすことが出来ました。会員拡大は1年間やったからと言って、成果が出るものではありません。長い目で頑張らないとダメ。改革案としては、衛星クラブを作る。今年は当地区で、新たに5の衛星クラブと3つのローターアクトクラブが結成されました。夜例会、オンライン例会、土曜例会など、柔軟性のある例会づくり。また、引っ越した会員にはWeb会員になってとどまってもらう。などです。また、会員維持の点からは、ケンカはしない、悪口は言わない、うそをつかない事が重要です。そして、すべてに当てはまることですが、メンバーのやる気と協力が不可欠です。
- (キーワード:衛星クラブと会員に合わせた例会の開催)

▲東京地区の都会ならではの拡大の苦労話

▲水野RI理事挨拶開会です

新会員紹介



入会クラブ 稲川ロータリークラブ
氏 名 阿部 司（あべ つと）
職業分類 旅館業
勤務先 阿部旅館
役 職 代表取締役社長
入会年月日 2024年11月12日
紹介者 佐藤 繁夫

国際ロータリー第2540地区 2024-2025年度 地区大会

